

熊本労災看護専門学校（3年商業科生徒）

私は今年の4月から、熊本労災看護専門学校に入学します。

私は小学校のときから、看護師になりたいと思っていました。一人一人の患者さんに笑顔で寄り添い、患者さんやその家族の方の不安を取り除いていく看護師に憧れを抱いていました。そして進路を決定するときに、先生から熊本労災看護専門学校を紹介されました。熊本労災看護専門学校は1年次の5月末に将来働く労災病院が決まります。だからその後は病院で働いている先輩方の支援を受けながら、就職活動の心配をせずに安心して日々の勉強や3年次の国家試験に向けた学習に集中できます。この点に魅力を感じたことが志望した理由の一つです。また、実習は学校の母体で行います。実習の受け入れ体制が整っていることにも魅力を感じました。

私が進路を実現するために取り組んだことは、過去の受験報告書などを見て、小論文や面接の練習を積極的にしたことです。小論文は800字と少し多かったので、最初はなかなか書けずに時間がかかりました。しかし、国語科の先生に添削をお願いし、様々なお題について書きました。そのお陰で時間内に800字書けるようになりました。

当日の試験内容は、小論文とグループ討論でした。小論文のテーマは「食と家族」でした。最初は何から書き出そうか悩みましたが、練習してきたことを思い出し、普段心掛けていることをそのまま書きました。グループ討論では、面接官5名に対して、受験生10名で賛成・反対に5名ずつ分かれて討論しました。討論の練習は2回ほどしかしていませんでした。しかし、試験会場の待機室で他の受験生と会話をしていたので、討論も緊張することなく、自分の意見を自信を持って大きな声で言うことができました。

最後に、1・2年生の皆さんに言いたいことは今できることを一生懸命努力してやってほしいということです。自分の進路実現に向けて頑張ってください。